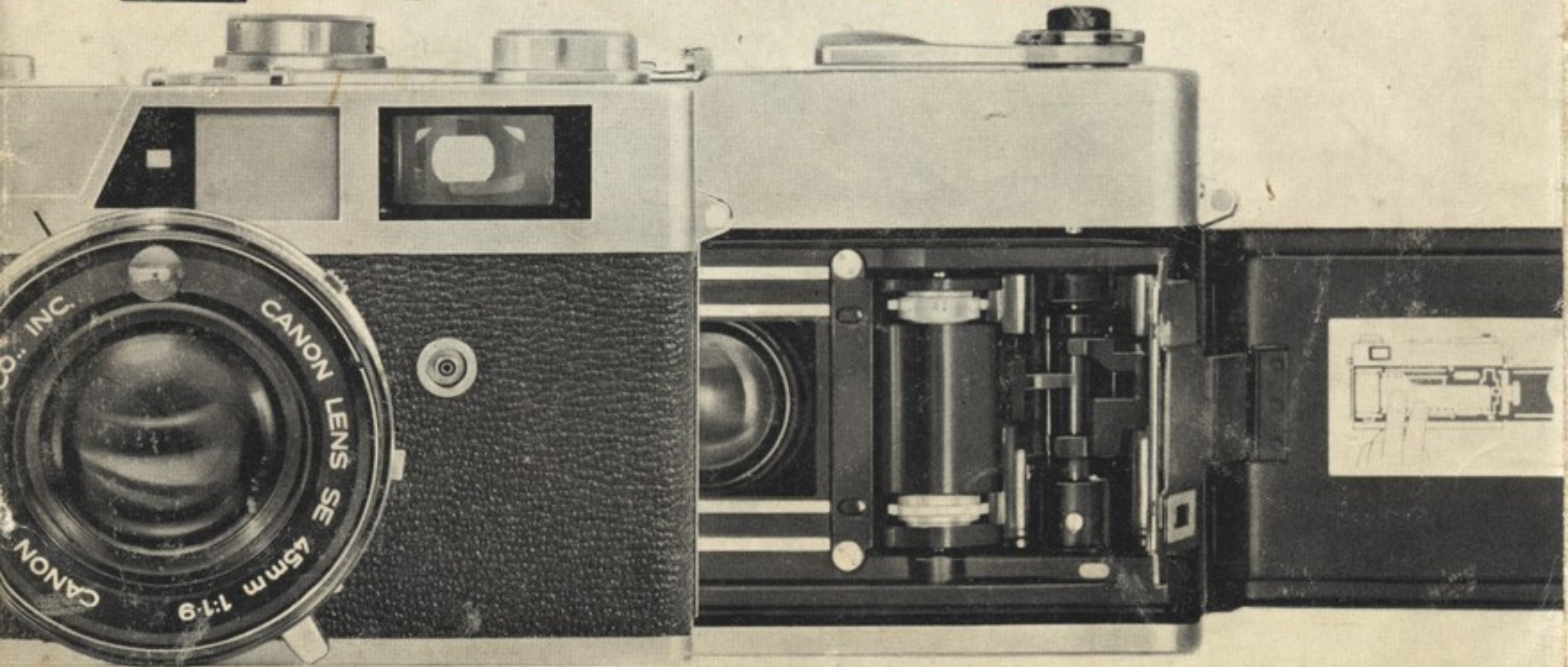




**キャノネット キャノネット**  
**QL17 QL19**

使用説明書



キヤノネット QL <キュー・エル>をお選びくださいますありがとうございます。  
このカメラは画期的な愛用者数をかちえた世界のEEカメラ、キヤノネットの安定した機構をもととしていますから、安心してご愛用いただけます。その上キヤノン独自のフィルム装填装置 QL 方式を組込んだため、これまでフィルム装填に要したわずらわしさから解放されることになりました。世界中のカメラメーカーに先がけて開発したキヤノネットの QL 方式は、EE 機構とともに大ぜいのカメラファンの方々にきっとお喜びいただけると存じます。

## キヤノネット QL 17 QL 19 の特長

### 1 QL 装置による新方式のフィルム装填

フィルムを所定の位置に置くだけで、QL 装置の“自動巻取り軸”に導かれ確実に装填されます。独創のカメラメーカー・キヤノンが生んだ、市販の35ミリパトローネフィルムをすべて用いることのできる画期的な機構です。

### 2 明るくシャープな大口径キヤノンレンズ

F1.9 は 4 群 5 枚構成、世界の眼キヤノネットのレンズ。カラーバランスのよさ、シャープな描写力が世界中で実証されています。F1.7 は EE カメラの中で最高級の明るさ、新種ガラスを 3 枚も用いた 5 群 6 枚構成で自動設計の理論を日本で初めて実用化した各収差補正の理想的なレンズです。

### 3 CdS による高感度露出計

明るいレンズにふさわしい広い測光範囲と高精度でつねに適正露出をお約束します。

### 4 手動絞りによる普通撮影

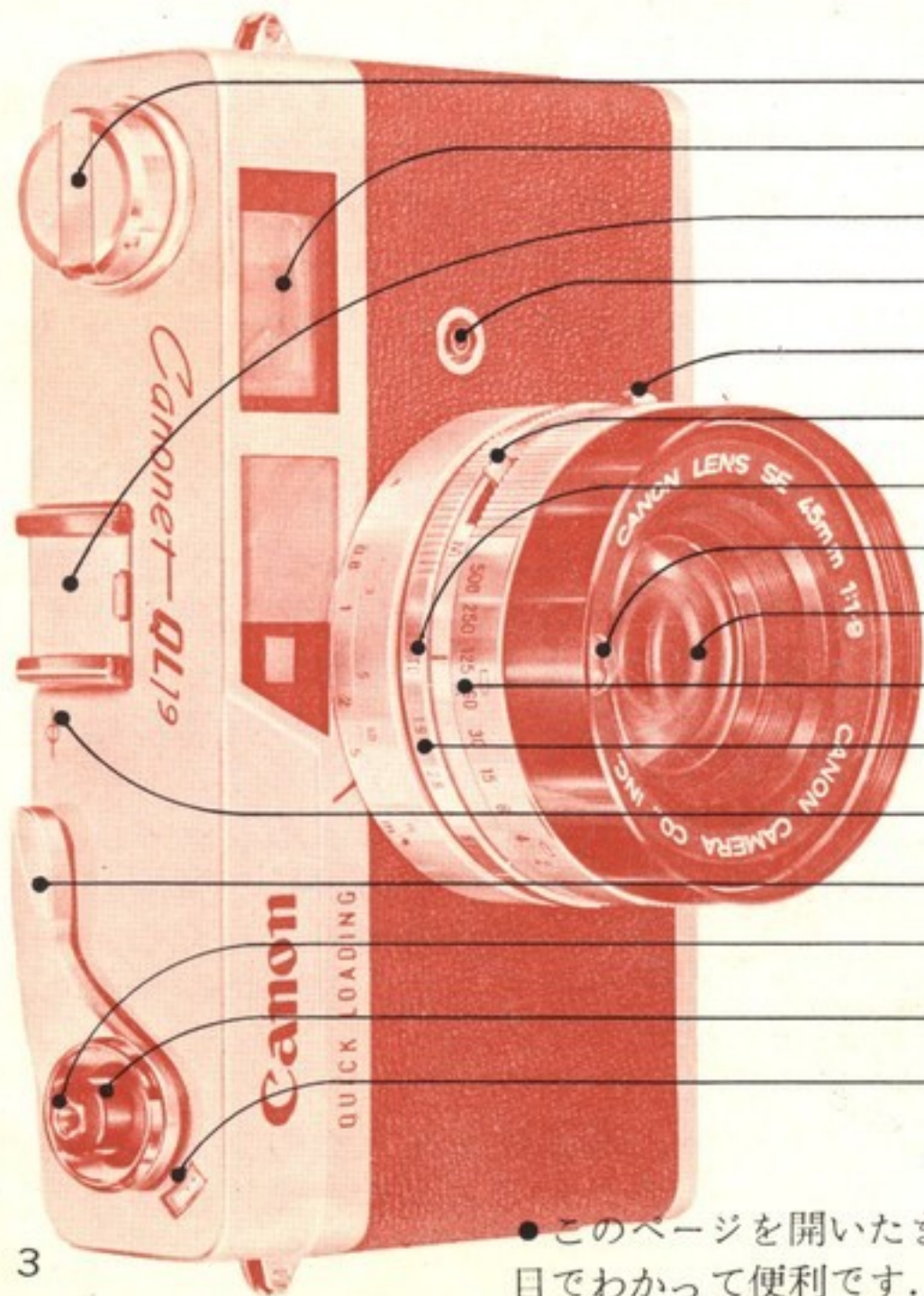
フラッシュ撮影、特殊目的の撮影には、任意の絞りを選んで撮影できます。

### 5 多層膜コーティングによるファインダー

ファインダーの中の半透鏡に、多層コーティングを施して光の透過率を良くし、明るい視野が得られました。距離計の見えもいっそう明快です。

### 6 その他

● レンズ、露出計とも 1 枚のフィルターでカバーするためフィルター使用の場合も露出調整不用 ● 誤用を防ぐ各種安全装置完備 2



- 巻戻しクランク
- 距離計ファインダー窓
- アクセサリシュー
- シンクロフラッシュソケット
- 安全ストッパー解除レバー
- フラッシュ接点切換えレバー
- AUTO マーク
- CdS メーター受光窓
- レンズ
- シャッタースピードリング
- 絞りリング
- フィルム位置マーク
- 巻上げレバー
- リリース穴
- シャッターボタン
- フィルム枚数計

●このページを開いたまま本文の説明をお読みください。各名称の位置が一目でわかって便利です。最後のページにも反対側から見た写真があります。

## キヤノネット QL 17

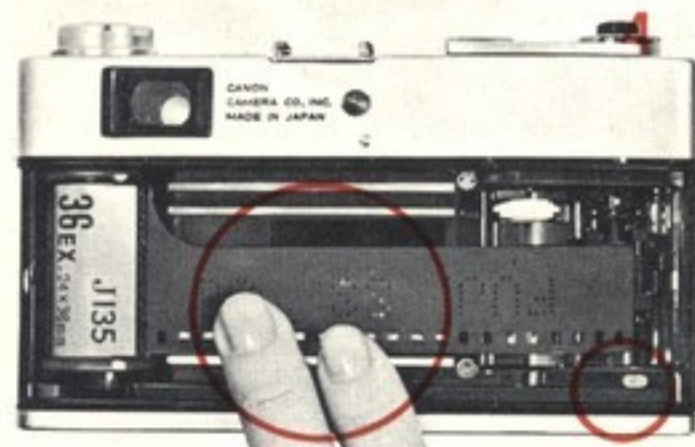
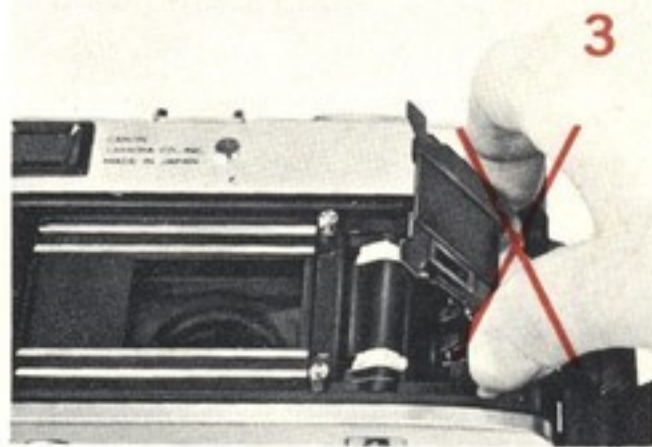
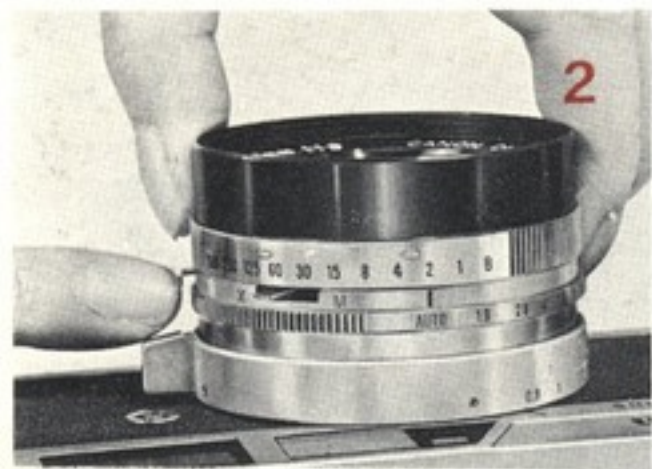
キヤノネット QL17 の各部の位置・名称はキヤノネット QL 19  
と同じです。左ページの引出線をご参照ください。



## ■ キヤノネット QL 17・キヤノネット QL 19 の主要性能

型	式	35mm レンズシャッター式EEカメラ
画	面	サイズ 24mm×36mm
レ	ン	ズ
		キヤノネット QL 17 キヤノンレンズSE45mm F1.7 5群6枚構成
		キヤノネット QL 19 キヤノンレンズSE45mm F1.9 4群5枚構成
シ	ャ	タ
		ー
		B 1 1/2 1/4 1/8 1/15 1/30 1/60 1/125 1/250 1/500
		倍数系列, セルフタイマー内蔵.
露	出	計
E	E	機
		構
		超高感度 CdS 露出計, 電源に水銀電池使用.
		露出計, シャッター, 絞りの完全連動. シャッター優先式.
		手動絞り可能.
メ	ー	タ
		ー
		作
		動
		範
		圍
		EV 2.5~19
フ	ィ	ル
		ム
		感
		度
		目
		盛
		ASA 25~800
フ	ァ	ィ
		ン
		ダ
		ー
		二重像合致式距離計連動, パララックス自動矯正式マークファインダー
		倍率0.7×. 視野内に絞り目盛および警告マークあり.
シ	ン	ク
		ロ
		接
		点
		MX切換え式. スピードライト, M級, F級に同調.
フ	ィ	ル
		ム
		装
		填
		方式.
		35ミリパトローネ入りフィルム専用.
フ	ィ	ル
		ム
		巻
		上
		げ
		1作動120°回転巻上げレバー式.
フ	ィ	ル
		ム
		枚
		数
		計
		自動復帰順算式.
フ	ィ	ル
		ム
		巻
		戻
		し
		巻戻しボタンを押してクランクで巻戻す.
大	き	さ
		140mm×79mm×31mm (レンズ突出量 QL 17; 37mm, QL 19; 33mm)
重		量
		キヤノネット QL 17 830g
		キヤノネット QL 19 800g

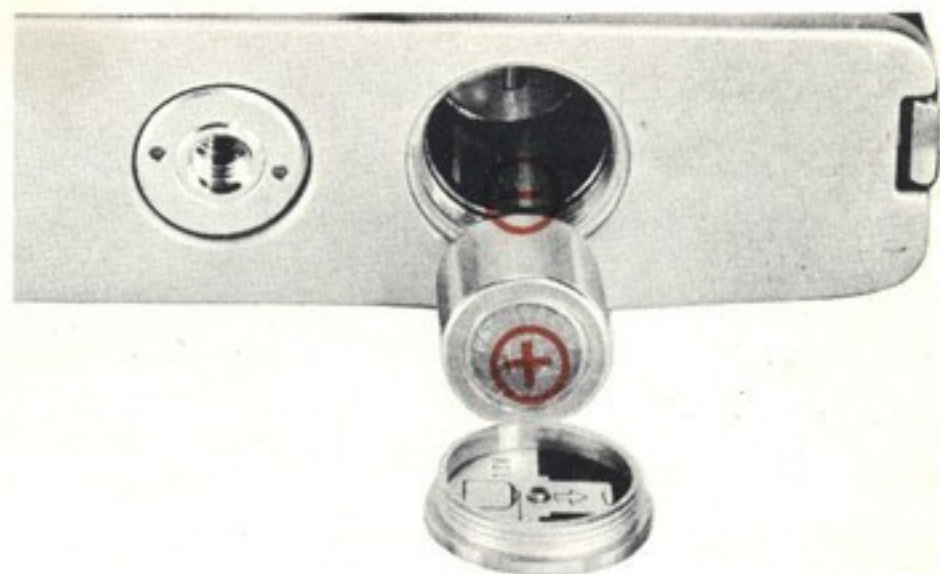
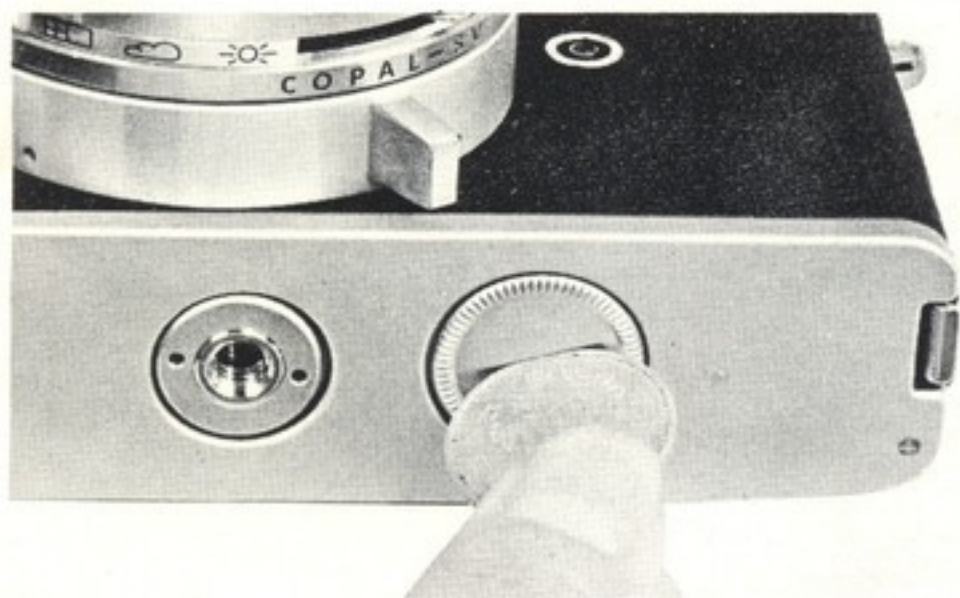
## ■ キヤノネット QL17・キヤノネット QL19の取扱いご注意



取扱い上つぎの操作は無理な力で機構をいためたり，不適正露出の原因になりますからお避けください。

1. シャッターボタンを押したままシャッターリングを回さないでください。
  2. シャッターリングには安全ストッパーがついております。ストップがかかったら無理に回さないでください（11頁参照）。
  3. カメラの裏蓋を開くと中蓋（QLカバー）も同時に開きます。QLカバーの開閉には直接手をふれないでください。QL機
- 構全体もむやみにさわらぬようにしてください。
4. フィルム装填の際，フィルム先端が●マークまでくるようにしてください。
  5. シャッターの目盛と目盛の間は使わないでください。
  6. シャッターボタンをむやみにガチャガチャ押さないでください。
  7. セルフタイマーは，フラッシュ接点をかならずX接点に合わせてからチャージしてください（18頁参照）。

## 水銀電池のつめ方



別封の水銀電池を電池室につめてください。水銀電池はCdSメーターの電源ですから、これを入れ忘れるとメーターが作動しません。

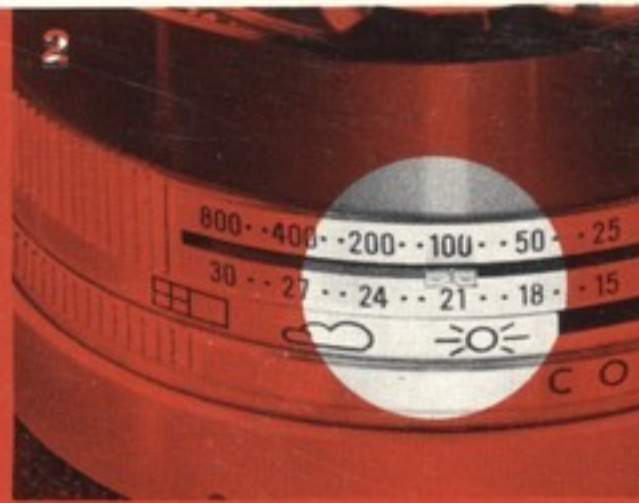
1. 水銀電池室カバーに硬貨をあてがい、左回しに回してはずし、
  2. 水銀電池の中心接点のある方を奥に向けて押しこみ、カバーをねじこみます。
- 挿入のさい⊕⊖を間違えぬこと。逆に入れますとメーターが正しく作動しません。

- 水銀電池はナショナル製 M-1P 型または東芝製 TH-MPが使用されており、米国の Mallory RM-1R に相当し、約2カ年の連続使用に耐えます。
- 汗や指紋をつけぬこと  
水銀電池は乾いた布でよく拭いてから入れてください。汗や指紋は腐蝕の原因になり、カメラの接点を損なうおそれがありますから十分ご注意ください。
- 長期間使用しないときは、水銀電池をはずして乾燥した場所へ保存しておいてください。

## EE 撮影の手順



1. QL でフィルムをつめる



2. フィルム感度を合わせる



3. 絞りリングを AUTO にセットする

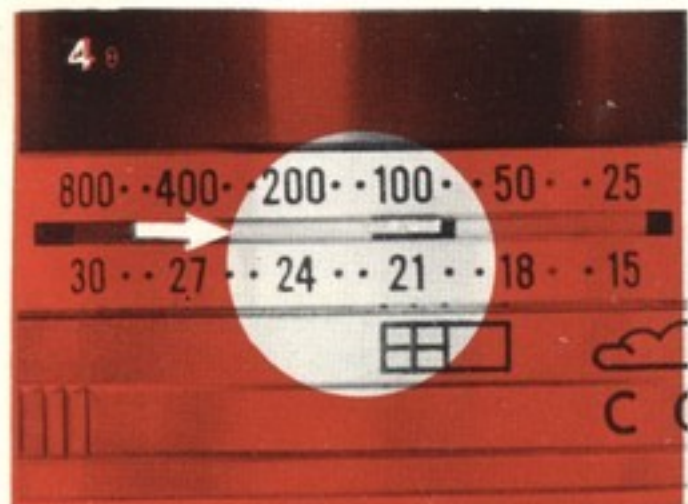


7. ピントを合わせて構図をきめ

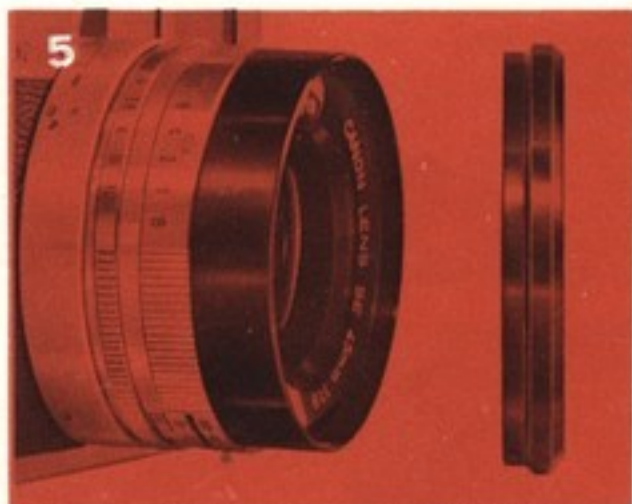


8. シャッターボタンを静かに押す





4. シャッターリングを回して感度切換えレバーを簡易露出マークに合わせる (10頁)



5. レンズキャップをはずす



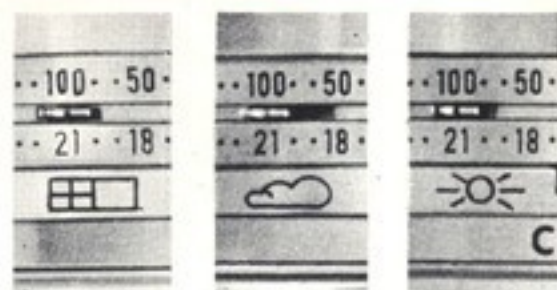
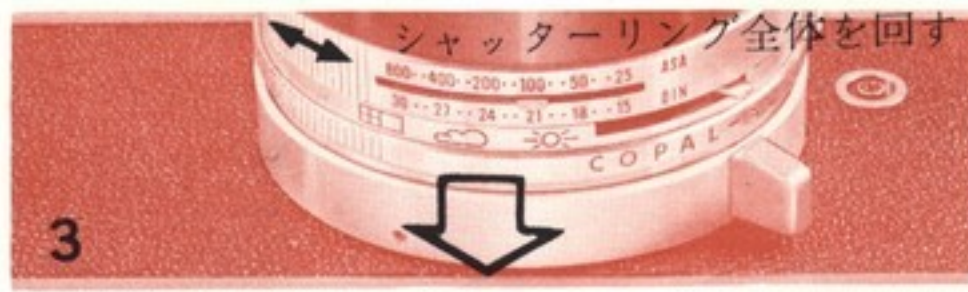
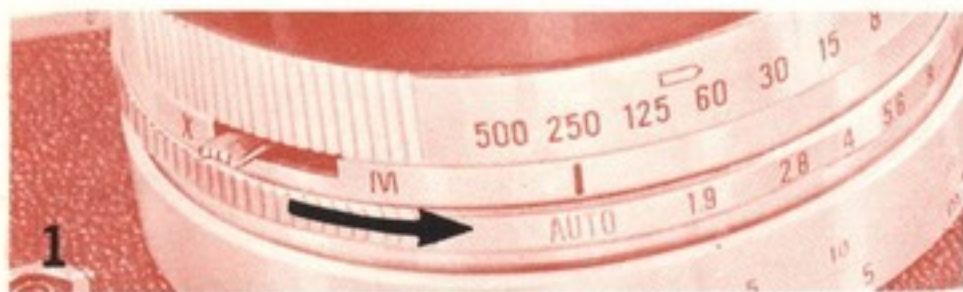
6. レバーを巻上げる



このファインダー図はキヤノネット QL19 のものです。キヤノネット QL17 では右端の絞り数値が1.7から始まります。

- ① 針が絞りをさす……適正露出ができる。
- ② 針が矢印部に……矢印方向へシャッターリングを回して写せ。
- ③ リングを回しても針が適正絞りを指さない……写せない条件下。

# EE 撮影の準備



EE 撮影を行なう前に、つぎの 3 つの条件をカメラに与えておいてください。

**1** 絞りリングの **AUTO** マークを指標に合わせます。

**2** フィルム感度レバーを押しながら回して使用フィルムの感度目盛に合わせます。

- フィルム感度はフィルムの外装箱に示されています。

- フィルム感度レバーをセットするときには、シャッタースピードを  $1/15$  秒以上の高速にセッ

トしておくことが必要です。  $1/15$  秒以下では高感度フィルムの場合、ストッパーがはたらいでセットできません。

- フィルム感度表示は次の 16 種でクリックストップがかかります。

(32)(40) (64)(80) (125)(160) (250)(320) (500)(640)  
 ASA 25 · · 50 · · 100 · · 200 · · 400 · · 800  
 DIN 15 · · 18 · · 21 · · 24 · · 27 · · 30  
 (16)(17) (19)(20) (22)(23) (25)(26) (28)(29)

**3** シャッターリング全体を回してフィルム感度レバーのある目盛位置を簡易露出マークの快晴 ☀️ 曇天 ☁️ 室内 🏠 のどれかに合わせます。

●簡易露出マークに合わせる際はかならずシャッターリング全体を回し、合わせ方はおよその程度でよく、シャッターリングがクリックストップにかかる位置にセットします。

### 不適正露出防止の安全装置

●EE作動範囲外の露出条件にセットされることを防ぐために、シャッターリングには安全ストッパーがついています。シャッターリングがストップしたら、それ以上むりに回さないようにしてください。安全ストッパーがかかる位置は次の通りです。

ASA	80以下の場合	1秒
//	100の場合	1/2秒
//	200の	1/4秒
//	400	1/8秒
//	800	1/15秒

安全ストッパーの制限を越えて、どうしても遅いスピードでシャッターを切りたいときには、安全ストッパー解除レバーを押しながらシャッターリングを回してください。この場合には、EEがはたらきませんから



AUTO をはずし、手動絞りで撮影します。

### B 目盛をEE撮影に使わないこと

EE撮影でB露出をすることは意味がありませんから使用しないでください。そのためB目盛には安全ストッパーをつけてあります(セットのしかたは20頁をごらんください)。

●シャッタースピード目盛の中間も使用しないでください。

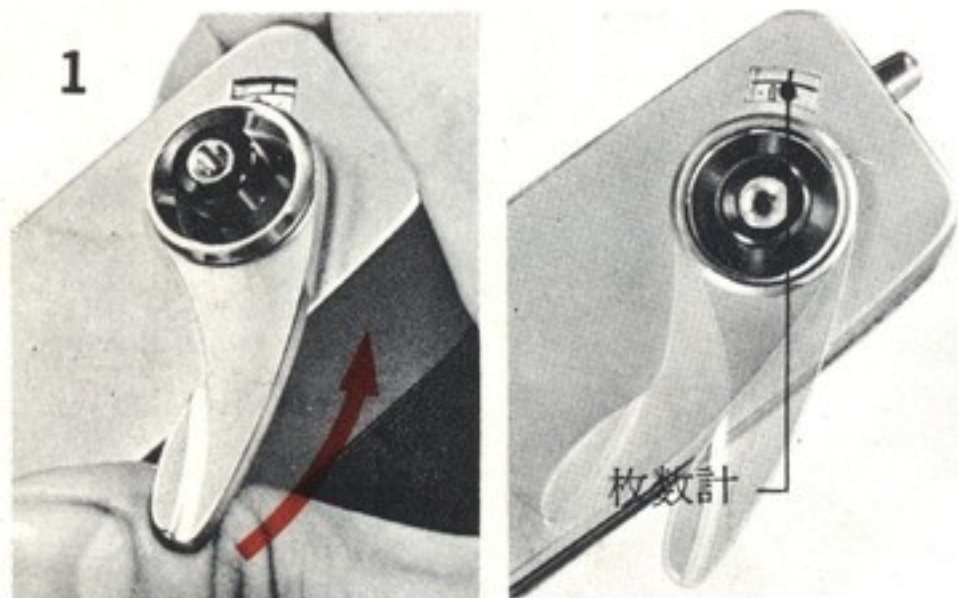


撮影の際カメラを確実に構えることは鮮鋭なピントの写真をとるために最も大切なことです。

カメラは縦位置または横位置の状況に従って写真のように持ちファインダーをのぞいて構図の決定をすると同時にピント合わせをし、それから静かにシャッターを切ります。

1. 両手で深くカメラを握り込むこと。
  2. カメラを頬あるいは額に当てて固定すること。
  3. 横位置のときは両ひじ、縦位置のときは少なくとも一方のひじをピッタリ体に付けること。
- シャッターボタンを乱暴に押すとカメラブレの原因になります。
  - 撮影には三脚とレリーズを使う方が確実です。
- 特に 1/30 秒以下のスローシャッターを切るときはこの点にご注意ください。





**1** レバーを巻上げます。  
フィルムが1コマ分送られ、シャッターがチャージされます。同時にフィルム枚数計が1目盛進みます。

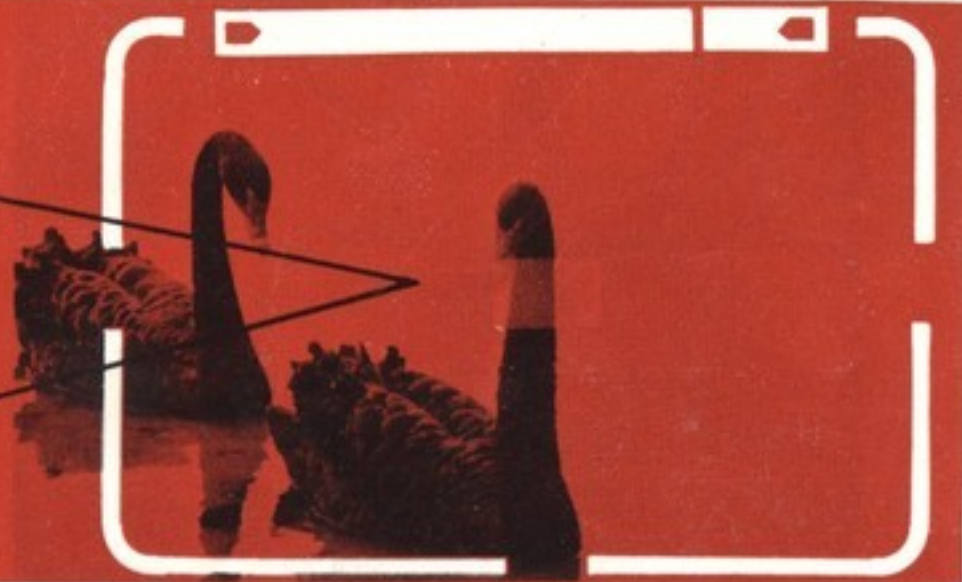
**2** ファインダーをのぞいてピントを合わせます。  
フォーカシングレバーを動かしファインダー視野の中央部に見える輪郭内で、被写体の2つの像が完全に一致したとき、その被写体にピントが合います。

**3** 構図をきめます。ワクのなかが写ります。

視野の周辺に見える四角い枠のなかがフィルムに写される画界です。この枠はピント合わせに連動して、自動的にパララックス（視差）の矯正をしますから、狙ったとおりの範囲が完全にフィルム面に収まります。

**4** ファインダーを見ながらシャッターボタンを押します。

指針が適正露出部内であればシャッターが切れます。シャッターボタンはカメラぶれ



を起さぬよう静かに押すことがたいせつです。

- シャッターがはたらくと、再びレバーの巻上げができます。

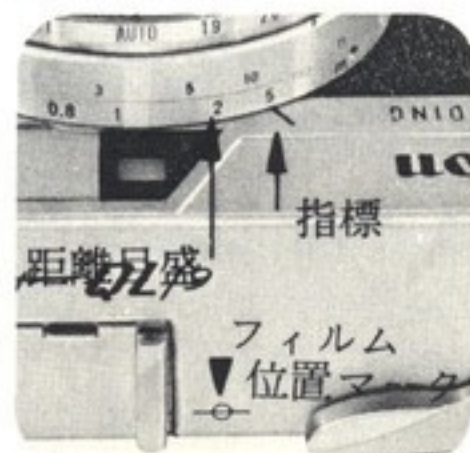
EE 撮影不適正露出の場合は安全装置がはたらいてシャッターボタンを押しても切れません。このときファインダー内の指針は、適正露出部の範囲外にあります。適正露出部内に指針がくるように矢印の方向へシャッターリングを回してください。

(次頁参照)



#### 距離目盛

ピントを合わせた被写体とフィルム面との距離を示すもので、距離指標によって撮影距離を読みとることができます。



## EE撮影表示とシャッタースピードの変更

ファインダー内のマークや数字をごらんください。

左右の矢印はシャッタースピードの変更マーク、絞り目盛範囲は適正露出部です。



指針が絞り目盛を示す。

適正露出でシャッターが切れる。

指針が適正露出部でない。

指針が左向き矢印部にあればシャッターリングを左へ回せ！

● シャッタースピードを変えれば撮影できる。

指針が右向き矢印部に入ったらシャッターリングを右へ回せ！

● シャッタースピードを変えても写せない。

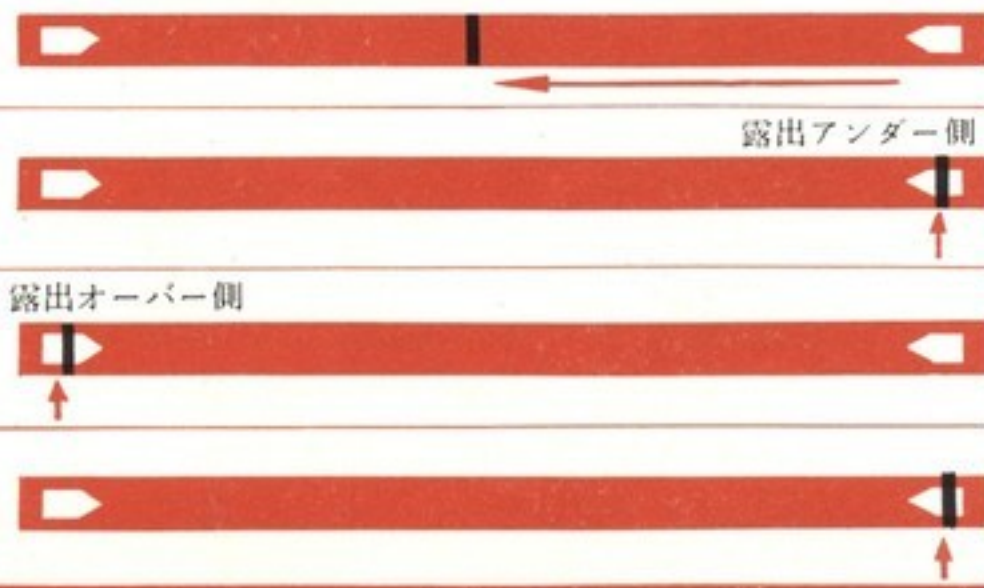
指針が適正部へ進まなければEE撮影ができない！（露出計の範囲外）

● シャッターリング（または絞りリング）を回すときはシャッターボタンから手を離してください





カメラを被写体に向けると明るさによって指針が移動してEE撮影の条件を示します。正しい露出を行うためには下図の指針の指示に従って撮影してください。



- シャッターリングはストッパーがかかったら回さないでください(11頁参照)。

- シャッターリングを一杯に回しても指針が適正絞りを指さないときは被写体が極端に明るい暗いかで露出計の限界を越しているときですからEE撮影をやめねばなりません。

● シャッターリングには矢印がついていますからファインダー指針のある矢印方向に合わせてシャッターリングを回してください。

● 手動絞りに切換えると、指針は右側に止まったまま動きません。

● 絞り目盛の中間の点は右から F2.8, 11 を示します。

● レバーが完全に巻上げられていないとシャッターボタンを押してもシャッターが切れません。

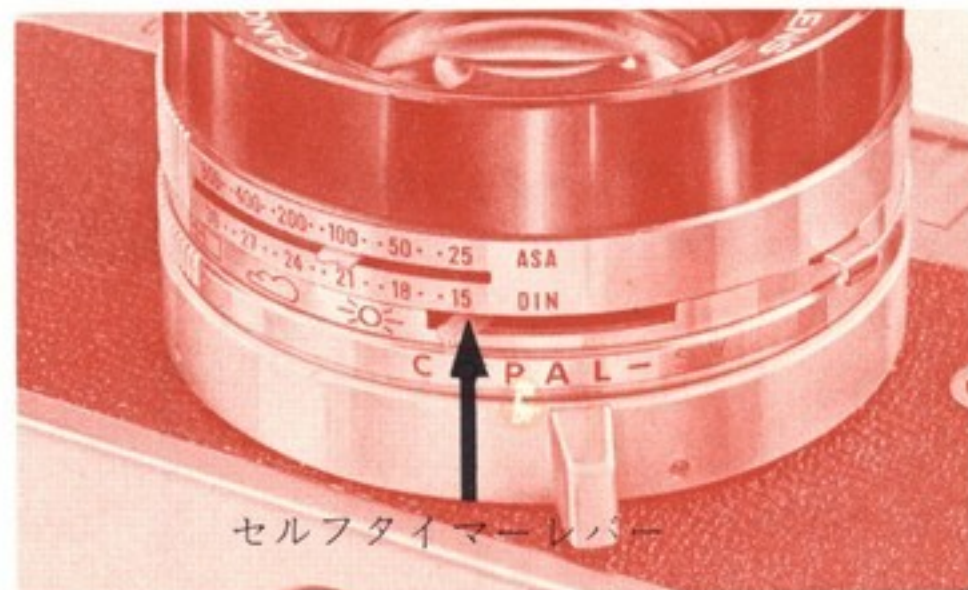
● 主被写体にくらべて、バックが非常に明るい場合や逆光の場合などには、主被写体が露出不足になり勝ちです。そのような場合は特にフィルム感度目盛を一段階位落して撮影する方法があります。

たとえばASA100の感度ならASA 50にセットします。これは例外手段ですから撮影が終わったらすぐフィルム感度目盛を正規に戻してください。この方法も採れない場合は後記の手動絞り撮影に切りかえます。

## セルフタイマー



フラッシュ接点切換えレバー



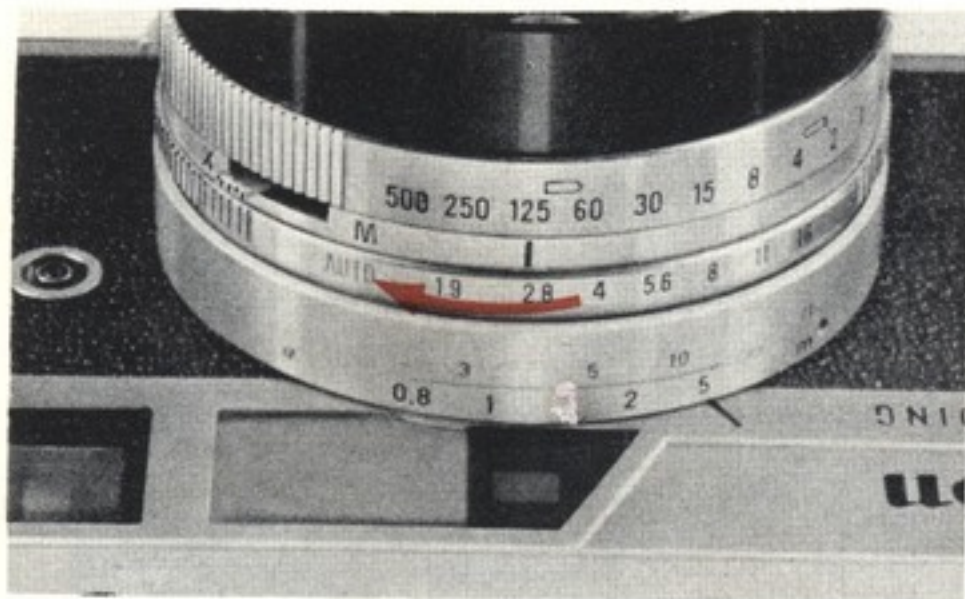
セルフタイマーレバー

セルフタイマーを使用するとシャッターボタンを押した後、約10秒おくれて、シャッターが作動します。次の順序で行います。

- 1 フラッシュ接点切換えレバーをXに合わせます。
- 2 セルフタイマーレバーを矢印の方向に動かしてセットし、巻上げレバーを巻きあげます。
- 3 シャッターボタンを十分に押し下げます。

- フラッシュ接点をXに切換えずにセルフタイマーレバーを動かさないこと。
- シャッターボタンはカメラのうしろから押しましよう。カメラの前に立つと、その陰の明るさに対する適正露出が与えられるため、主被写体に正しい露出が与えられなくなります。ご注意ください。
- ◎ ● セルフタイマー使用の場合、M級バルブによる撮影は1/30秒よりおそいシャッターをお使いください。
- ● セルフタイマーは手動撮影でも利用できます。

## 手動絞り



キヤノネット QL 17, QL 19 は, AUTO マークをはずすと自動機構が解除され, 絞りとシャッタースピードを自由に組合わせて撮影できます. シャッターによる効果や絞り効果を使いたい場合, また非常に暗い被写体で長時間露出を必要とするとき, あるいはフラッシュ撮影で絞りをきめるときにご利用ください.

その他の操作は全く変わりありません.

絞りは光の量の調節をするもので, 数値が大きくなるに従って暗くなり, 目盛の一段ごとに明るさが半分になります.

従って絞りを1目盛絞りこんだときは露出を倍

にし, 2目盛絞りこんだときは露出時間を4倍にしなければなりません. 絞り目盛と露出量の比率は, F2を基準として次の通りです.

絞り値	1.7	2	2.8	4	5.6	8	11	16
露出比率	$1/1.4$	1	2	4	8	16	32	64

### 絞り効果のまとめ

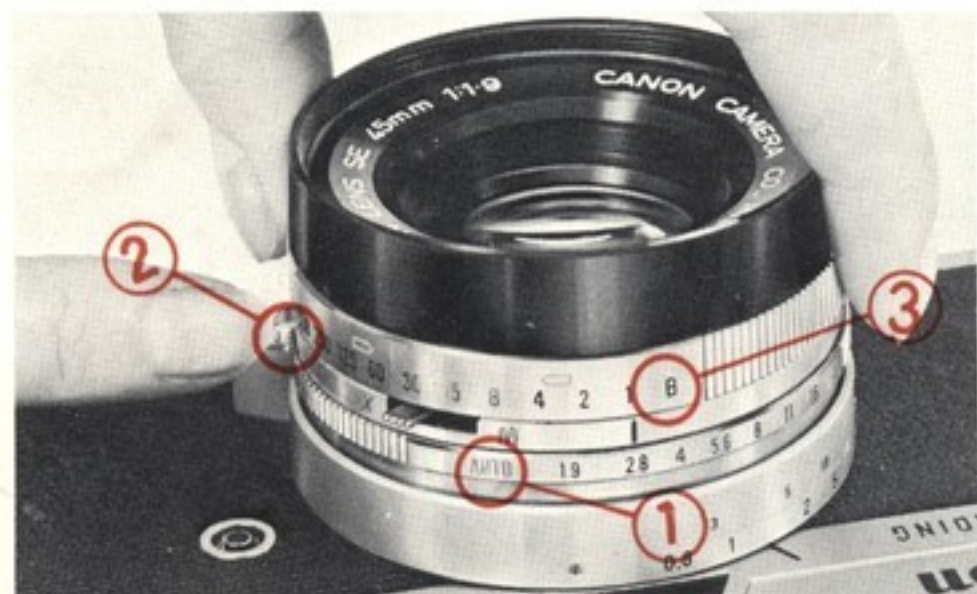
- 数値が大きいほど光量が少くなり  
目盛1段ごとに $1/2$ の明るさになる.
- 数値が大きいほどピントの合う範囲が深い.
- 撮影距離が遠いほどピントの合う範囲が深い.
- 反対に開放になるほどピントが浅い.

シャッタースピードは露出時間の調節をするもので, 絞り系列と同様, 各目盛間は2倍に変る倍数系列になっています. 従って1目盛速いシャッターを選んだときは絞りを1目盛開いてやることになります.

### シャッターの効果

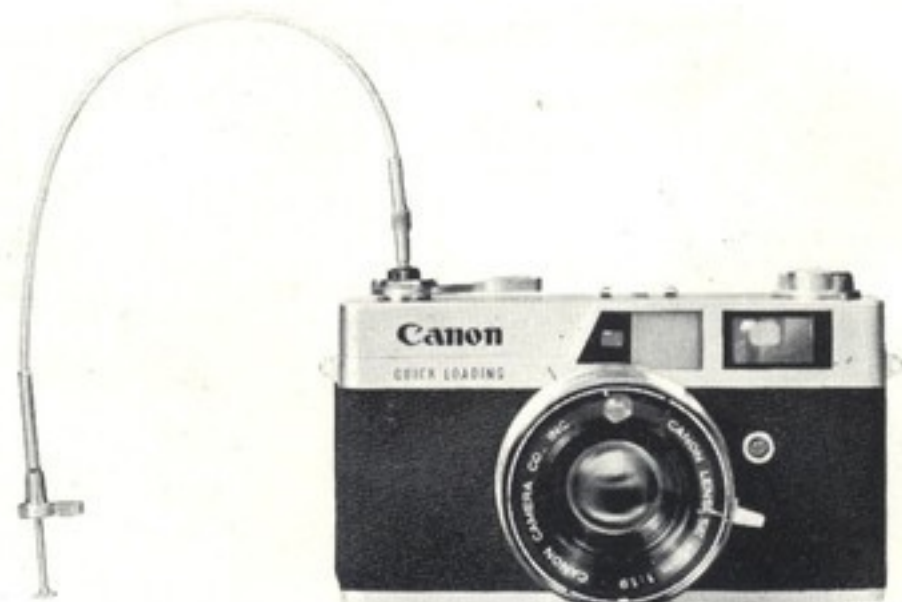
**高速:** ブレ防止, 速い被写体撮影用, 浅い絞りを生かす撮影.

**低速:** 暗い被写体の撮影, ブレの効果, 深い絞り効果を生かす撮影.



B はバルブ露出で、シャッターボタンを押している間中、シャッターが開いていますから1秒以上の長時間露出に用います。

1. 絞りリングを AUTO からはずし、手動絞りに合わせる。
2. 安全ストッパー解除レバーを押しこんだまま、
3. シャッターリングを回して、B を指標に合わせる。
4. 巻上げレバーを巻上げて、シャッターボタンを押すと、押している間シャッターが開き、はなすと閉じて B 露出が行われます。



- B 目盛は、ストッパー解除レバーを押さないと指標に合わすことができません。
- 安全ストッパーはEE機構の安全装置を兼ねるものです。シャッターリングを B から戻すと、解除レバーは飛び出して元の状態に戻ります。

## T 露出

極長時間露出を行うときは、上記 B 露出にセットし、ロック付リリースによってシャッターを開き、リリースを押したまま、固定しておきます。

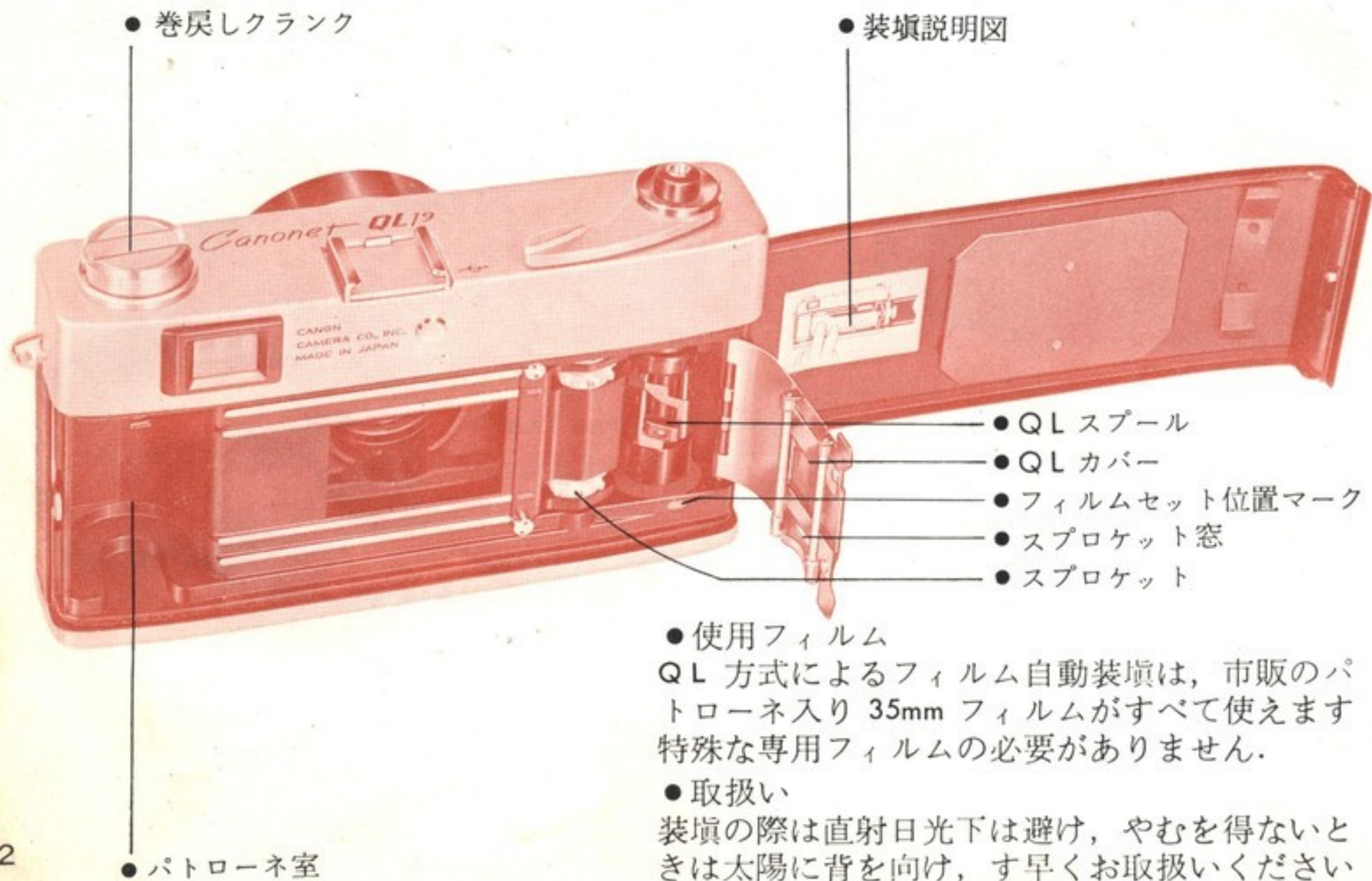


- 1 フラッシュユニットをアクセサリシューに取付け、コードをカメラのフラッシュソケットにさしこみます。
- 2 フラッシュバルブはM級、F級のバルブおよびスピードライトが使えますが、その種類によってフラッシュ接点切換えレバーをMかXに切換えます。
- 3 フラッシュ撮影の場合、絞りはガイドナンバーによってきまります。したがって絞りリングはAUTOをはずして使用することになります（EE撮影はできません）。



●フラッシュ使用表

フラッシュ使用表	フラッシュバルブ		接点	同調範囲
	M級	F級		
	M級	F級	M	全シャッタースピード
			X	1/60秒以下の低速
	スピードライト		X	全シャッタースピード



● 巻戻しクランク

● 装填説明図

● QL スプール

● QL カバー

● フィルムセット位置マーク

● スプロケット窓

● スプロケット

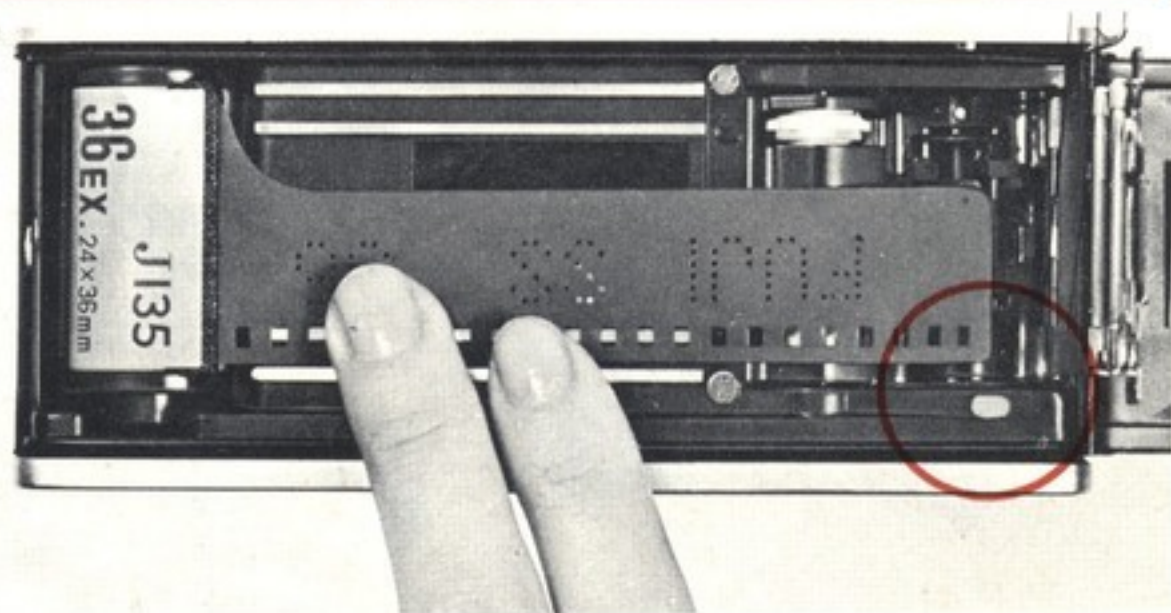
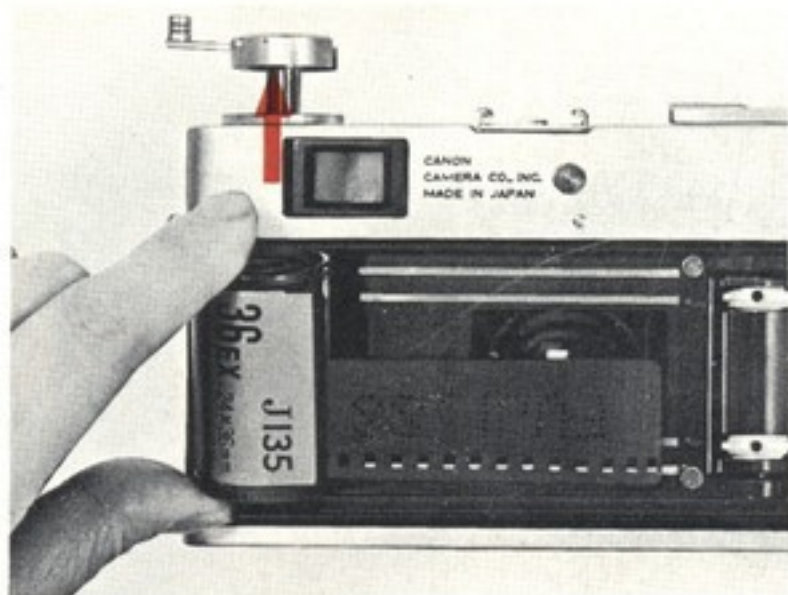
● 使用フィルム

QL 方式によるフィルム自動装填は、市販のパトローネ入り 35mm フィルムがすべて使えます  
特殊な専用フィルムの必要がありません。

● 取扱い

装填の際は直射日光下は避け、やむを得ないときは太陽に背を向け、す早くお取扱ください

● パトローネ室



## 1 裏蓋を開きます。

裏蓋開閉止め金を引くと裏蓋が浮上がります。裏蓋はいっぱいに開いてください。裏蓋を開くと、QLカバーも同時に開き、フィルム装填状態になります。

QLカバーはフィルム装填に大切なはたらきをもち、裏蓋の開閉によって自動的に開閉が行なわれるものです。QLカバーには無理な力を加えないでください。

## 2 パトローネを入れます。

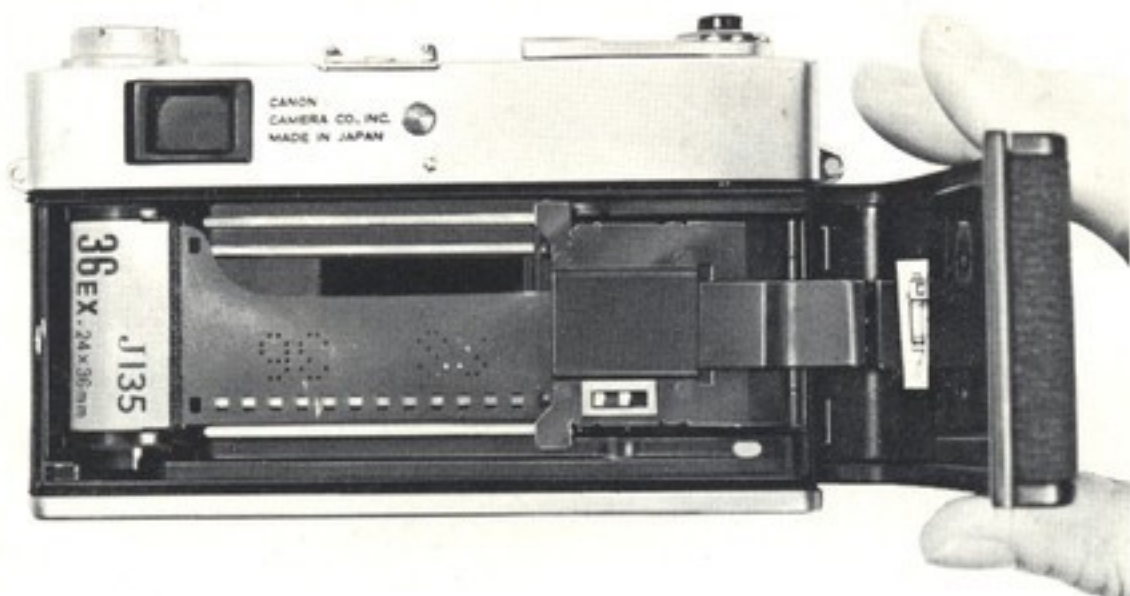
巻戻しノブを十分に引上げ、パトロ

ローネを収めたのち、ノブを元の位置に押戻し、フォークをパトローネ軸にさし込みます。ノブが十分戻りきらないときは、左右に僅か回すようにすると収まります。

## 3 フィルム先端を●マークに合わせます。

## 4 フィルムの穴を歯車にかけます。

パトローネの向きを写真の方向に整え、フィルムを上向きに浮かせないように左手で押えながら、



**5** 裏蓋を半ば閉じると、  
QL カバーがフィルムを押えます。  
スプロケット窓でフィルムが歯車に正しく  
かかっているかどうかを確認します。

**6** 裏蓋を閉じます。  
裏蓋は押すだけでロックされます。  
\* フィルムにたるみがあると、パトロー  
ネが浮上がり裏蓋が閉まりません。ご  
注意ください。

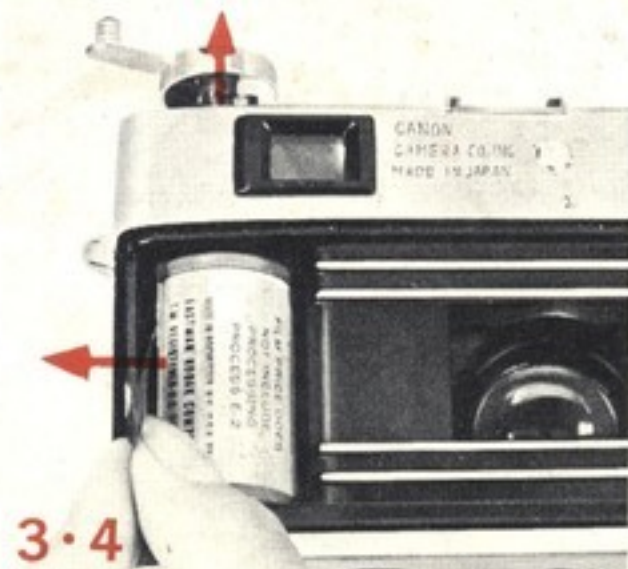
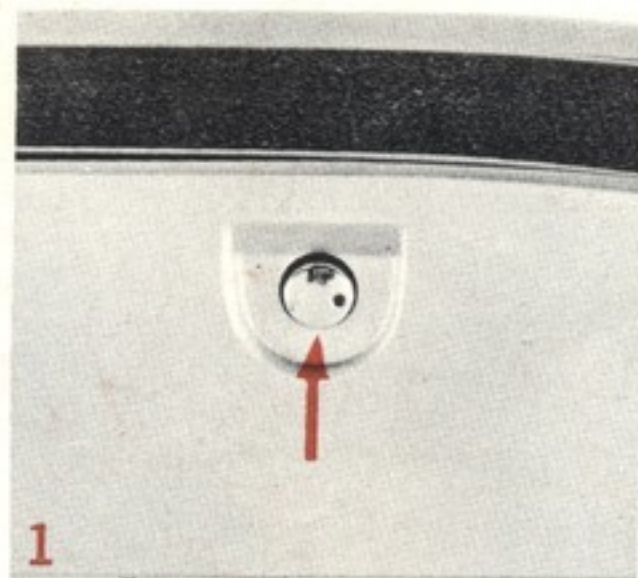
**7** 2回空写し。  
絞りリングをAUTOからはずし、レン

ズキャップをしたままシャッターを切り、  
フィルム送り操作を2回繰返してください。  
フィルム枚数計の表示が0になり、次  
の巻上げで1枚目の撮影準備ができます。

\* レバーを巻上げたとき、巻戻しノブが  
回転することによって、フィルム送り  
の状態が確かめられます。フィルムに  
たるみがあるときは、巻戻しクランク  
を回してたるみをとっておくこと。

**8** 絞りリングをAUTOに戻します。





フィルムが終りになると巻上げができなくなります。撮影されたフィルムはカメラの中に裸のまま巻取られていますから、巻戻さずに裏蓋を開くと全部無駄になります。ご注意ください。

**1** 巻戻しボタンを押し込む。

**2** クランクで巻戻す。  
巻戻しクランクを引起し、矢印方向に回しフィルムを元のパトローネに巻戻します。巻戻しボタンの回転が止ったら巻戻しを中止します。

\* フィルムを全部パトローネに巻込むと取り出したとき洩光の心配あり。巻戻しが終ると、クランクの抵抗がやや軽くなるのでわかります。

**3** 裏蓋を開き、  
**4** パトローネを取出します。  
巻戻しノブを十分引上げて取出してください。

● 巻戻しボタンは、一度押したら指を離してもさしつかえありません。レバーを巻上げると自動的にもとへ戻ります。

● フィルムの終りで無理に巻上げると、フィルムが切れて、巻戻しができません。  
この際には暗室内で裏蓋を開きます。

裏蓋止め金

ファインダー接眼部

裏蓋

水銀電池室

シャッターリング

ASA感度目盛

DIN感度目盛

セルフタイマーレバー

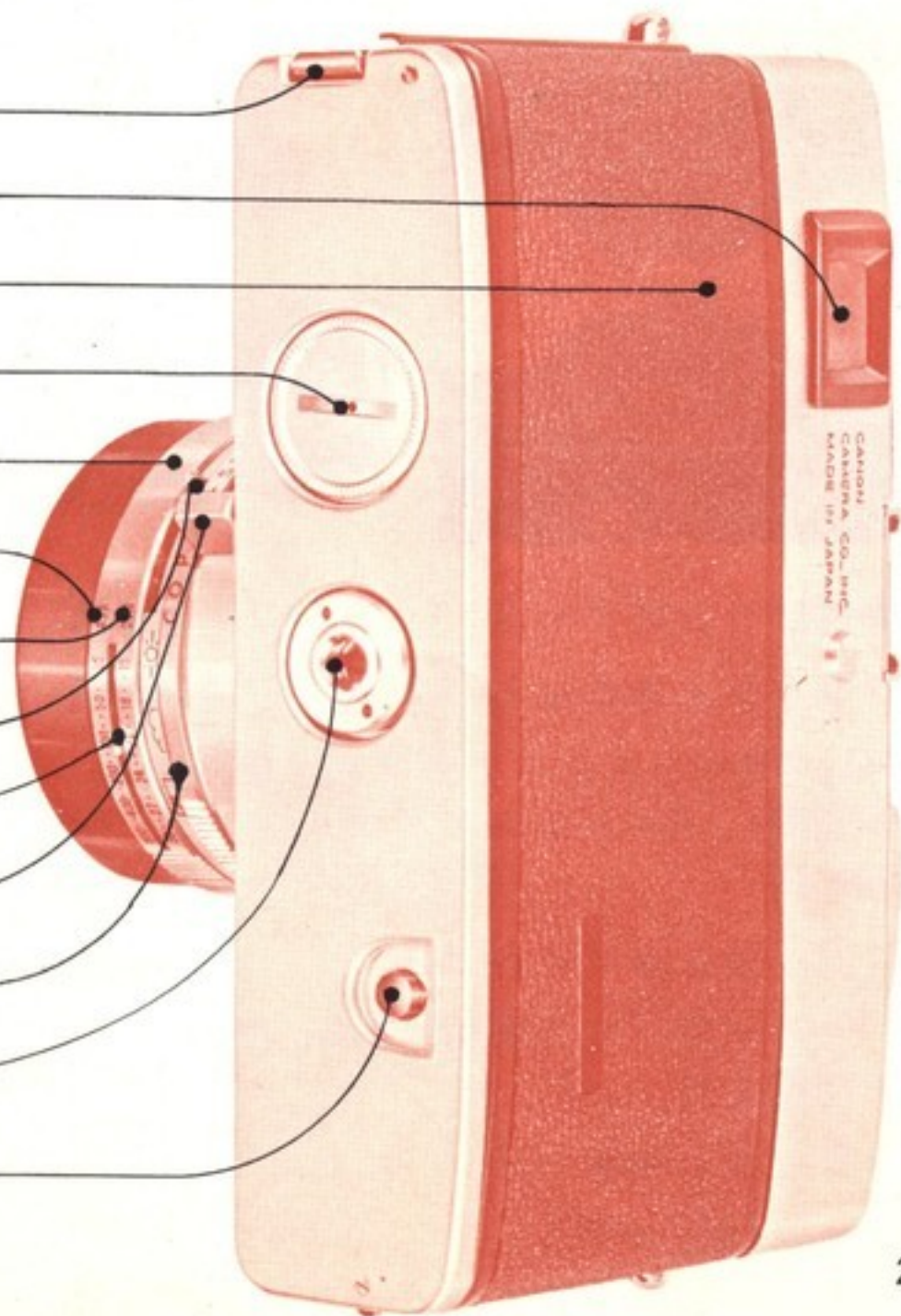
フィルム感度セットレバー

フォーカシングレバー

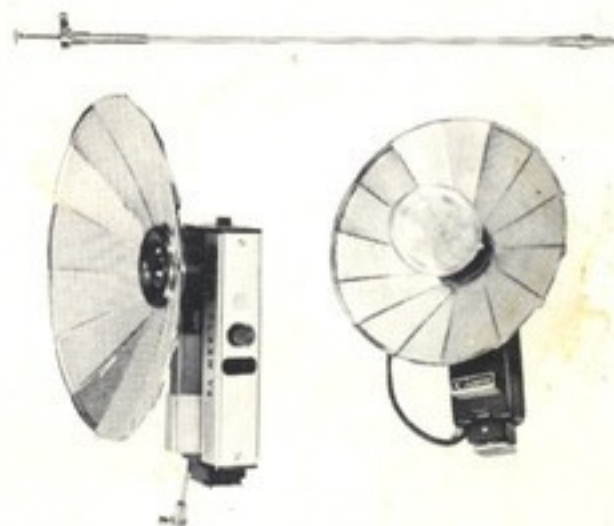
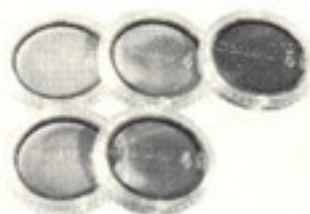
簡易露出マーク

三脚穴

フィルム巻戻しボタン



キヤノネット QL 17 のアクセサリー



- 締付けレンズフード 450円
- フラッシュユニット J-2 1,050円  
AG, PHベースレスアダプター使用可能  
万能型. ベースレスアダプター AG, PH  
各90円
- フラッシュユニット J-3 1,050円  
ベースレスバルブ専用. AG, PH ソケッ  
ト切換え式.
- フラッシュ V-3 3,300円  
(ケース) 200円  
ソケット切換えによるスリーウェイ式, PH

ベースレスアダプター使用可能, 4種類  
のバルブが用いられる最高級型.

- フラッシュクイント 2,950円  
5コのバルブを連続発光させる小型発光  
器です. AGタイプ専用.
- スピードライト 100 8,100円  
(コード・ケース) 700円
- 55mm ねじ込み式フィルター  
プラスチックケース付 UV Y<sub>1</sub> Y<sub>3</sub> O<sub>1</sub> R<sub>1</sub>  
G<sub>1</sub>, スカイライト, カラーコンバージョ  
ン, ND全11種 各 1,000円

# キヤノンカメラ株式会社

東京・大田区下丸子町 312 電話 738 大代表 2111

## 営業所・サービスステーション

銀座	東京都中央区銀座 5-3 (吹原ビル 1階)	電話 572-4271-3
八重洲	東京都中央区八重洲 3-1 (大久保ビル 2階)	電話 271-0391-2
大阪	北区梅田 2 (第一生命ビル 2階)	電話 361-1261
名古屋	中村区広小路西通 3 (大商ビル 6階)	電話 58-3811-4
福岡	天神 1-11-17号 (福岡ビル 9階)	電話 76-2818-1061
広島	広島市紙町 14-11号	電話 21-4615-6
札幌	北三条西 4-1 (第一生命ビル 4階)	電話 23-5788-22-7322
仙台	東一番丁 68 (富士ビル 8階)	電話 25-0215-7
新潟	新潟市東大通 1-23 (マルタケビル 7階)	電話 4-0758-9
静岡	静岡市御幸町 9-2 (大吉野ビル 2階)	電話 54-3936

